

学校法人 東京聖徳学園

SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ 第73号
 平成26年8月1日
 ●発行●
 学校法人 東京聖徳学園
 〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
 TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園



シンポジウムの様子

第二回 鳴門教育大学シンポジウムを開催

七月二日(水)、鳴門教育大学主催・聖徳大学共催によるシンポジウム「教員養成モデルカリキュラム(学士課程)の試行的実践と改善(第一回)が行われました。前半部は鳴門教育大学准教授・佐伯昭彦先生による「算数」・同じく准教授・伊藤直之先生による「社会」の公開授業が実施されました。公開授業は本学の学生も交えて行われ、テンポよく、時折笑いも交えた授業内容に、学生たちは楽しみなながらも真剣な表情で向き合っていました。

後半部のシンポジウム「教員養成カリキュラムとテキストをめぐって」においては「理論と実践」がメインテーマに設定され、「学生が『学び』を相対化する視点を持てるのか?」「教員が、学習の成果をどう見とることができるのか?」という、学生・教員双方の視点から活発な討論が交わされました。シンポジウム終了後は国立教育政策研究所所長・大槻達也氏による講演が行われ、現在、日本の教育界の置かれている状況の多角的な分析と将来への設計が、



大槻達也氏

詳細に語られました。朝から夕方まで、ほぼ一日通して行われた濃密なプログラムでしたが、終了後も参加された方々がシンポジウムの内容について語り合う光景がそこかしこで見られ、非常に充実した時間となりました。



握手を交わす大山市長(左)と川並学長(右)

聖徳大学と八潮市(埼玉県)が包括的連携協定を締結

聖徳大学・聖徳大学短期大学部は、八潮市との包括的な連携に関する協定を締結。七月四日(金)、八潮市の大山忍市長、八潮市教委の石黒貢教育長をはじめ関係者を本学にお迎えして、締結式が行われました。本学にとっては、取手市(茨城県)、市川市教委、松戸市に次いで(市町村では)四番目の協定締結となり、八潮市としては本学が最初の協定大学になりました。協定の主な内容としては、「本学の地域貢献」「八潮市の施策推進、地域課題解決のための知的・人的・物的資源の活用」「本学・八潮市の人材の育成を掲げています。協定書に双方署名の後、挨拶に立った川並弘純学長は、「本学は、『知』と『地』の二つを地域の方々と共有できる機関でありたい」「協定で学生や教職員が活躍できる場が増えたことに感謝したい」「今回は『教育』が主眼

だが、さらに連携協力する分野が広がることを期待している」と述べました。これに対し、大山市長は、「教育を地域の『まちづくり』の柱に位置づけ、より魅力ある『まちづくり』を進めたい」「貴学の豊富な人材をはじめとする財産、先生方や学生の力を生かしたい」「学生の研修の場を提供したい」と、協定に基づく今後の取り組みへの意欲を表明しました。

INDEX	
学園	1
大学院・大学短大	2
幼児教育専門学校	3
附属女子中・高	4
取手聖徳女子中・高	4
幼稚園	5
小学校	5
インフォメーション	6
	7
	8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

ISO 9001
 (教育の質マネジメントシステム)

ISO 14001
 (環境マネジメントシステム)

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

アートパーク7 みんなゲイジュツ化宣言



「きのこロボット」(大成ゼミ)

つた今回は、昨年の「みんな子ども宣言」から一歩踏み進め、非日常的な場(アートな空間、時間)を創造することで交流や学びの場が生まれることをねらいとし、サブタイトルを「みんなゲイジュツ化宣言」としました。当日は千名以上の親子が集まり、公園のさまざまな場所を生かした十のワークショップを楽しみました。それぞれのワークショップは昨年同様、児童学科・保育科のゼミ、有志と、地域団体が一部合同チームとなり企画、運営を行いました。また、昨年の経験者である四年生が「おたすけ隊」となり、アートパーク全体のサポートも行いました。公園では、「きのこロボット」(大成ゼミ)や「まつど Atelier・ま(じ) Museum」(保育科有志/KEYAKIDS)など各所で作品制作や企画が行われ、また美術部は昨年同様、パレードを行いました。「アートパーク」は今後も内外の関係を発展させながら、子ども、公園を核に松戸のマンパワーが集結するプロジェクトとして継続していきます。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と協定締結

六月二十三日(月)に聖徳大学ならびに聖徳大学短期大学部は、一般財団法人東京オリンピック・パラリン

ピック競技大会組織委員会(森喜朗会長)と、二〇二〇年に開催する大会に向けて、オリンピック教育の推進、大会機運の醸成等の取り組みにおいて、相互に連携・協力体制を構築することを目的とし、協定を締結しました。

主な連携事項は、人的分野および教育分野での連携、競技大会に関する研究分野での連携、競技大会の国内PR活動の連携、オリンピックチームアップメン



トの推進およびオリンピックレガシーの継承に関する連携です。期間は締結日の二〇一四年六月二十三日から二〇二〇年十二月三十一日までです。今回、全国の千二百二十九(国公私立)大学のうち、五百五十二大学が組織委員会と連携しました。また千葉県内では、二十三国公立大学のうち、十七国私立大学の二つが連携しました。

今後は、組織委員会からの要請に応え、大会機運を盛り上げるよう大いに協力していくこととしています。皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。

聖徳大学入学式

ジョン・モートン博士

スピーチ

後編

【訳】ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジ
聖徳大学ハワイ大学カピオラニ国際センター

佐藤 さをり 先生

本誌前号に掲載しました
本学入学式での博士の祝辞
を書き起こした「ジョン・モ
ートン博士スピーチ」の後編
です。



また、科学とは世界の見
方の一つにすぎないことも
覚えておきましょう。芸術
家、詩人、哲学者、作家、社
会学者、誰しも世界を見つ
めていながら、それぞれの
見方は異なっています。そ
うした見方の違いも学びま
しょう。異なる洞察をもつ
ことでよりよい人間として
成長し、世界をよい場所に
していくことができるので
す。

皆さまが旅する世界は、
より複雑に結びつき依存し
あい、同じようなものにな
っており、ウクライナ
で起こっていることが日本、
アメリカに影響しています。
ニューヨークで売っている
ものはパリや東京でも売っ
ており、トヨタの車は中国
製の部品を用いてアメリカ
でも生産されています。キッ
コーマンしょうゆは、アメ
リカのウイスコンシンで生
産されていますが、原料の
大豆もそこで栽培されたも
のです。

道を求め始めています。
それは現代世界として自然
な成り行きと考えます。皆
さまには、その広い世界に
出て行き、探検し学ぶ機会
を捉えてくださることを、
願い、強くお勧めします。
旅行するとき、同じこと
ろ似ているところを求め
るのではなく、違いを探し
求め、多めに経験することが
大切です。人類が環境に適
応する中で、長い年月を経
て、さまざまな違いが、豊
かな多様性としてはぐくま
れてきました。その中で、
人間の考え、行動、文化の
中に、ユニークな表現が発
達してきたのです。そうし
た違いを快く受け入れ、尊
ぶことを学びましょう。現
代の人類が伝統的な文化と
社会の壁をどのように受け
継ぎ越えてきたか、理解す
る努力を続けながら。

お話を締めくくりとして、
そうした文化の一つから教
えられる洞察のいくつかに
ついてご紹介しましょう。
ご存知のように私はハワイ
から参りました。ハワイと
いうと、太陽、美しい波、
砂浜、そのようなものが思
い浮かぶと思います。しか
し、知っていたきたいたいの
は、ハワイの先住民は素晴
らしい人々であるというこ
とです。皆さま、今ここで、
五百年前の日本に思いをは
せてください。そして五百
年前のハワイ先住民を思い
浮かべてください。彼らは、
海原はるか四千キロのかな
たから、カヌーに乗って星
と風だけを道しるべに、そ
れが実際に存在している
は誰も知らなかった、ハワ
イの島に到達しました。そ
して、島を発見しただけで
なく、そのどこからも遠く
隔たった地に、豊かな文化
を発達させてきたのです。

その文化の中で、現代の
わたくしたちにとっても重
要だと思ふ考え方がいくつ
かあります。その一つはア
ロハです。アロハは単なる
挨拶のことばではありません。
誰をも、外見や地位な
どで人を判断せず、あらゆ
る人を喜んで受け入れる、
歓迎のしかたで、自分の持
っているものはすべて、喜
んでその人と分かち合うこ
とを意味します。アロハは、
人間として誰もが持つてい
る共通なもの、ひとつの
表現のしかたです。

小さな島ですから、その
文化も環境に調和して発達
させる必要があります。違
間違った、搾取したりす
る余地はまったくなかった
のです。将来に残せる環境
を残すには、いくつかの基
本的な考え方が重要でした。
その一つが、クレアナとい
い、地域共同体のためにな
る活動、仕事の領域で責任
を持つという意味です。ま
た、ラウリマ、こちらは、自
分の利益のためではなく、み
んなのために共に働くこと、

あるいはローカヒ、自然の
もとでお互いが調和して生
きる、一つにまとまること
を意味します。
ハワイの考え方は、ハ
アア、謙虚、謙譲も尊ば
れます。謙虚とは、その人
自身の成し遂げたことを否
定することではなく、その
業績はその成功を支えた
人、貢献した人、みんな
分かち合うものであり、そ
れをお互いに認め合うこと
です。ハアアとは、ある
人が立派な業績をあげたと
しても、それにより、他の人
を見下したり、自分が他の
人より上であると考えて
はならない、そう教えてい
ます。

ですから、皆さまがアロ
ハのもとに暮らし、自分の
責任を受け入れ、共に努力
し、謙虚な姿勢で、学ぶこ
とを貴び、目の前に広がる
世界に何かを発見していく
なら、あなたの聖徳大学で
の旅は必ずや素晴らしい
ものとなるでしょう。そして
その旅が卒業の節目を迎え
るとき、皆さまが手にする
ことができるのは、ご褒美
の賞品ではなく、次の切符
その先の人生を渡っていけ
る切符でありましょう。

そして、いま一つのハワ
イ語のあることばをもって
私のお話を結びさせていた
だきます。誰かが新しいこと
に向かっているとき、激励の
気持ちでかけることばです
ですから新入生の皆さま
お一人お一人にそのことば
を心をこめて贈りたいと思
います。
(イムア、がんばって。)
ご清聴まことにありがと
うございました。(終)

留学生フレンドシップパーティー

六月十九日(木)、
留学生と教職員が
互いに交流を深め
ていく行事、フレ
ンドシップパーティ
ーが開催されました。



化がほとんどない
ため、新入留学生
は全員が未経験者
でした。ボールの
持ち方も分からな
い学生ばかりでし
ましたが、先輩の留
学生や先生方に教
わりながらだんだ
んとコツをつかみ、
二ゲームが終わるころには
「またボウリングをした
い！」とすっかり気に入っ
たようでした。

見事優勝した音楽文化研
究科前期課程二年の楊超さ
んには豪華景品が、他の学
生には参加賞がプレゼント
されました。

看護学部がスタート!
看護学部は、聖徳大学六
月に新設され、現在九十
五名の一期生が聖徳看護学
部の新しい伝統を創り始め
ています。本学部の目的は、
本学の建学理念「和」の精神
に基づき人間教育を土台と
しながら、市民の健康を守
るために、自らを律し、チ
ームの中で主体的に考えなが
ら、質の高い看護を実践す
ることができ、凛とした
専門職女性を育成すること
にあります。

北海道研修旅行

六月八日(日)
より二班に分か
れて行われた六
泊七日の聖徳大
学短期大学の
学外研修Ⅱ(北
海道研修)が、六
月二十一日(土)に無事、全
日程を終了しました。



さらに深めること
ができたものと思
います。
また、七日間にわ
たって行われたホテ
ルマナーの習得や
食事マナーの実践
教育により、社会人
として必要な基礎
力が身につけているかを見
直すきっかけとなり、自己
の成長につなげることがで
きました。地元の方々やバ
ス会社、旅行会社のスタッ
フの方々との交流を通じ、
学外研修をより充実したも
のにできたと感じます。

この学外研修での七日間
は、学生にとって一生の思
い出となることでしょう。

子どもの健康教育を推進
研究所リレー連載 第24回
聖徳大学児童学研究所
所長の伝言板

私がお長を拜命して九年
目を迎えます。今年度から、
新しい運営委員のもとで、
この二年間を担当します。
児童学研究所の基本的な
仕事は変わりません。非常
に忙しい勤務の中で、でき
るだけ仕事を分担して、特
定の人だけに負担がかか
らないようにしたいと考えて
います。
さて、文部科学省は、子
どもの安全を守る学校健康教
育推進事業の中に、「がん
の教育総合支援事業」を新
たに立ち上げました。喫煙、
生活習慣病、紫外線等の問
題を通して、小学生の頃か
ら健康教育を進めようと思
います。

第二回学内合同企業就職説明会を開催

六月二十七日(金)、「第二回学内合同企業就職説明会 in 聖徳大学」を一号館四階メディアラウンジにて開催しました。

企業の採用環境は、一部では売り手市場の声も聞かれ始め、本学学生からも昨年度より早期に就職内定を獲得しているとの報告が増えています。しかし、大手・準大手を中心に厳選採用の傾向は変わらず、就職活動戦線はまだまだ厳しい状況が続いております。そこで、まだ採用活動を行っている



説明に耳を傾ける学生たち

中堅・中小企業にも目を向けて積極的に就職活動を行っていきましょう。企業と学生の出会いを一つでも多く取り持つべく、第二回学内合同説明会を実施しました。

当日は、採用意欲旺盛な企業十九社とまつど新卒応援ハローワークの参加があり、大学四年生・短大部二年生五十八名、そして大学三年生十二名の合計七十名が熱心に説明に耳を傾けていました。今回初の試みとして、三社の企業に選考も実施していただきました。

企業の方からは、真面目で素直な学生が多いとの評価を受けました。学生が、この説明会をきっかけに業種・職種の視野を広げ、就職内定を獲得できるように支援していきたいと思っております。キャリア支援室は、八名のスタッフと一名のキャリアカウンセラーで個別就職支援を強化しています。

学生寮で防犯講習を開催しました

六月の下旬から中旬にかけて、各学生寮で防犯講習が開催されました。松戸警察署・松戸東警察署の方にお願いいただき「簡単にできる護身術」や「ストーカー対策方法」などをご講演いただきました。



説明を聞く寮生たち



ビデオによる講習

「最終的には自分の身は自分で守らなければならぬ」という警察の方の言葉に、寮生たちも真剣に耳を傾けていました。

この講習会にて学んだことを忘れず、日々の生活に活かしてほしいと思います。

ようこそ先輩！第七回就職経験者懇談会

六月七日(土)、「ようこそ先輩！第七回就職経験者懇談会」を開催しました。本年三月に本学を卒業し、新任教員として学校現場で活躍している現職の先生方を中心に三十名余りの先生方がご参加くださいました。また在学学生は、採用試験を間近に控えた四年生ばかりではなく三年生も参加しました。

会は、増井三夫副学長をはじめ、ご来賓の皆様のご挨拶に続き、卒業生の代表が挨拶をしました。今年度から現職の先生方の実践報告も企画しました。

先生方にはそれぞれ、学校での指導事例や学級経営について、あるいは昨年度の教員採用試験に向けた受験対策についてなど、具体的に話をさせていただきました。

この会は、本学を卒業した教員が一堂に会して学校や都県の教育情報を交換し合うとともに、在学生の採用試験対策に資することを目的として開催しています。

現職の先生方との写真撮影の後、「地域別懇談・情報交換会」を開催しました。在学生からは具体的な質問がたぐされ、先輩が丁寧に答えてくれていたことがとても印象的な会となりました。



卒業生とともに

レポートの書き方セミナーを開催しました



セミナーの様子

レポート作成を苦手とする学生は多いと思われるが、大学卒業後も、報告書、企画・提案書、日誌など、書く力が問われる場面は多々あります。レポート作成を通して書く力をトレーニングしておくことは、社会人になってからも大変有効といえます。

レポート作成を苦手とする学生は多いと思われるが、大学卒業後も、報告書、企画・提案書、日誌など、書く力が問われる場面は多々あります。レポート作成を通して書く力をトレーニングしておくことは、社会人になってからも大変有効といえます。

語学センターだよ！

お昼休みは英語を話そう！

語学教育センターのランチタイムは、みんなが英語でしゃべりやすいチャットタイムです。お弁当を食べながら外国人、バイリンガルの先生といっしょに英語の練習ができるだけでなく、さまざまな学部、学年の学生と友達になれるので、ひとりでも気軽に参加できます。英語が苦手な人もたくさん参加しているので「英語がしゃべれないから」と心配しなくても、優しい先輩や先生たちが必ずサポートしてくれます。

先日、語学教育センターに新しく40インチのフラットスクリーンTVが登場しました。すでにたくさんの方が英語の字幕を見ながらムービータイムを楽しんでおり、今後は映画上映会も予定しています。



おしゃべりするチャットタイムです。お弁当を食べながら外国人、バイリンガルの先生といっしょに英語の練習ができるだけでなく、さまざまな学部、学年の学生と友達になれるので、ひとりでも気軽に参加できます。英語が苦手な人もたくさん参加しているので「英語がしゃべれないから」と心配しなくても、優しい先輩や先生たちが必ずサポートしてくれます。

同窓会連合会「聖徳学園菊水会」

第十二回評議員会開催

五月三十一日(土)、聖徳大学十号館(生涯学習社会貢献センター)にて、聖徳学園菊水会第十二回評議員会および懇親会が開催されました。

開会にあたり、川並知子名誉会長から、「卒業(園)された方が母親となり、そのお子さんがまた聖徳を卒業(園)し、この同窓会連合会へ加わり、幅が広く深みのある会になった。同窓会連合会を核にして学園中が仲良くしていただけていることを望んでいる」と挨拶がありました。

続いて川並弘純会長は、「卒業生の皆さまが社会で活躍されており、また、この同窓会連合会という場所に代表として戻ってきてくださることが、とてもうれしくありがたいことだ」と思っていることと謝意を述べました。



第12回評議員会(10号館11階会議室にて)

聖徳学園菊水会ホームページ <http://www.seitoku.jp/dosorengokai>

ぜひアクセスしてください!!



聖徳大学×新京成電鉄「コラボ企画」

「サマーコンサート」を開催



パーカッションアンサンブルの演奏

「サマーコンサート」が七月十二日(土)、新京成電鉄の初富駅前(木)の鎌ヶ谷市民会館さくらホールにて開催されました。

今回は本学音楽学部演奏学科器楽コースで打楽器を専攻している三年生伊藤優さん、五月女美美衣さん、谷川綾乃さん、古田美紗子さんの四名と、卒業生で現在は打楽器奏者として活躍中の阿部直子さん、そして演奏ができます。

セミナーでは、こうしたポイントのほか、レポート作成のフローなど、学生にとって実り多い時間となるよう、指導を行いました。

奏学科・山本真理子教授によつて編成された「聖徳レディスパークション」の皆さんによるパーカッションアンサンブルの演奏が披露されました。シロフォンやマリリンバ、ヴィブラフォン等の鍵盤打楽器やティンパニ、ドラムセット、ボンゴ、コンガ、和太鼓など二十二種類の打楽器を使用し、ダイズニソング、ジャズ風、本格的なアンサンブル曲など全十三曲を演奏しました。

学生たちの熱心な演奏や、ユーモアたっぷりのパフォーマンスに、会場のお客さまは熱心に聴き入っていました。またプログラムの最後の曲「幻のトレイン」とアンコールの「線路は続くよどこまでも」では新京成電鉄のマスケットキャラクターの「しんちゃん」「けいちゃん」、そして新京成電鉄松戸駅の山崎駅長が登場してステージを盛り上げてくださいました。

「東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金」寄付者芳名一覧

平成二十六年四月～五月ご寄付分

ご協力ありがとうございます

- 取引業者関係
●聖和会関係
●附属幼稚園関係
●ひじり会関係
●教職員関係

募金だより

昨年度、松戸市秋山の地にある「聖徳の子農園」で給水施設の取り付け工事が行われました。

五月二十八日(水)の青空の日、「聖徳の子農園」には、一年生から六年生までの学年縦割りにグループ分けされた「明和班(めいわはん)」の活動の一環として、サツマイモの苗植を行う児童の姿がありました。



サツマイモの苗植をする児童



給水施設

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校と米国ポートルランド州立大が交流協定を締結



ポートルランド州立大学

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校とポートルランド州立大学(PSU)が七月四日付で調印を交わし、①教員や学生・生徒の協議、研究やその他の教育活動のための訪問、②学術的な資料、刊行物、情報の共有、③その他の学術的活動の促進に

関する学術交流を行うことと合意しました。現在、聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校ではSPA(Study Program Abroad)の指定を視野に入れた取り組みを行っており、高い語学運用力・幅広い教養の育成を目指しています。

(Project Problem-Based Learning: 問題発見・解決型学習)等のプログラム開発を進めます。生徒はPSUの実験室・研究室への訪問・見学ができるほか、特定の授業への参加や、PSUと連携した課題研究、意見交換などが可能となります。

【ご寄付のお申し込みについて】お電話またはメールで、ご住所とお名前をお知らせください。募金係より募金趣意書、払込用紙をお送りいたします。お問い合わせ先 東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金係 TEL.047-365-1111(代) メールアドレス bokin@seitoku.ac.jp

聖徳大学陸上競技部 監督の部屋⑦

千葉・茨城県陸上競技選手権大会で4選手が入賞!

千葉県陸上競技選手権大会および茨城県陸上競技選手権大会で、本学から4選手が入賞を果たしました。

第67回 千葉県陸上競技選手権大会

- 6月28日(土) 女子10000m
4位 大貫 美織 人間栄養学科 2年
7位 坪井 千奈美 社会福祉学科 3年

6月29日(日) 女子5000m

- 5位 菅生 晶子 人間栄養学科 2年

第69回 茨城県陸上競技選手権大会

- 7月5日(土) 女子棒高跳び
6位 小林 友佳 児童学科 1年



左から坪井選手、大貫選手、菅生選手



小林選手

なお、これらの大会は8月29日(金)から神奈川県相模原市で開催される関東陸上競技選手権大会の予選を兼ねており、千葉県大会に出場した大貫、菅生の両選手と、茨城県大会に出場した小林選手がそれぞれ6位以内に入り、本戦の出場権を獲得しました。

いよいよ夏本番です! 聖徳大学陸上競技部は夏期強化合宿を経て、9月28日(日)に開催される関東大学女子駅伝で上位を目指します。選手たちへ熱いご声援をお願いします。

今後の主な出場予定の大会は以下の通りです。
9月22日(月)~23日(火・祝)
第25回 関東学生新人陸上競技選手権大会
熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

9月28日(日)
第20回 関東大学女子駅伝対校選手権大会
千葉県印西市千葉ニュータウン周回コース

人間栄養学科・総合文化学科 パティスリー&ブルーランジェリー ジャパン2014に出展



試食品は来場者にも大盛況

六月十八日(水)から二十日(金)の三日間、東京ビッグサイトにおいて洋菓子の専門展示会である「パティスリー&ブルーランジェリージャパン2014」(旧ベーカーリー素材・洋菓子素材E X P O)が開催され、本学の人間栄養学科と総合文化学科が出展しました。

人間栄養学科の吉田真美ゼミは、「豆類を使用したグレンフリー(小麦粉不使用)洋菓子の試作」、今井悦子ゼミは、「大麦粉・米粉使用のシフォンケーキ」と題した発表を行い、本学の調

幼児教育専門学校

保育所実習を行いました

五月二十六日(月)より、保育科第一部二年生の保育所実習が行われました。この実習では、今まで机上で積み上げてきた学びを保育現場にて実践し、保育士となるための学びを深めていくことを目的としています。子どもとの発達、保育士の言葉かけや援助、さらには家庭や地域における保育の現状を学び、さまざまな状況に応じた判断力や理解力を身につけることなどを一人ひとりが目標とし、心と身体をフル回転させながら二週間の実習に臨みま

附属女子中学校・高等学校

中学三年

オーストラリア修学旅行

五月二十二日(木)から二十七日(火)まで、オーストラリアへ修学旅行に行ってきました。約十時間の空の旅を終えてシドニーに着し、市内見学に入りました。最初にボンダイビーチを訪れ、一瞬にして眠気を覚ますような真つ青な海に、全員が見とれてしまいました。この日の気温は二十五



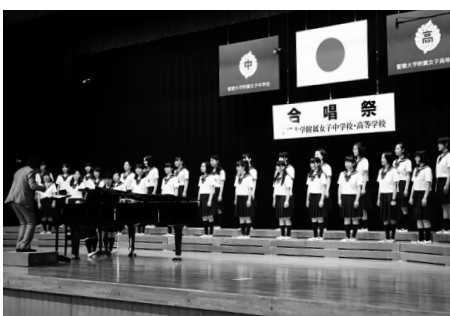
度を超え、海で泳ぐ人やサーフィンをする人など、「夏の海」がそこにありました。その後ミセスマッコリーズチエアでハーバーブリッジやオペラハウスをバックに記念写真を撮影し、ハイドパークや大聖堂を見学しました。オペラハウスでは、ステージは見られませんが、合唱祭の練習もかねて一般の見学者の前で発表するクラスもありました。翌日はトロッコやケーブルカーに乗り、ブルーマウンテンズの雄大な景色を鑑賞した後、カーモンド地区へ移動し、二日間お世話になるファームステイの家族とお会いしました。滞在中は農場体験を行ったり家族の人と交流を持つなど、オーストラリアという異国で貴重な体験をすることができました。

成田空港での解散の時に、生徒たちの顔は満足感に溢れたものでした。今後の人生において、国際人として大きく成長するための良い経験になったことと思います。

合唱祭を終えて

六月七日(土)に聖徳大学附属女子中学校・高等学校において、第二十九回合唱祭が行われました。当日は聖徳大学音楽学部より八杉忠利演奏学科長を審査員としてお迎えし、また保護者の方々にも多数お越しいた

だき、大変盛況のうちに終えることができました。本年の合唱祭は中学生の部で三年A組、高校生



の部で六年B組が最優秀賞に輝き、その演奏はとて

力豊かで、音楽を楽しむ態度も優れ、クラスの団結力も向上が見られ、充実した合唱祭になったと感じています。特に選曲の面では、いわゆる「J・POP」を合唱用に編曲したものではなく、純粹に合唱用として創作された楽曲を選ぶクラスが増え、生徒たちの合唱に対する意識が上がり、感動を感じることができました。今後も「歌声の響く聖徳学園」を目標に取り組んでまいります。

取手聖徳女子中学校・高等学校

北蓼科高原体験学習

五月二十一日(水)から三泊四日の日程で、高校生活最後となる六年生の北蓼科高原体験学習が行われました。初日は雨でしたが、二日目以降は天候に恵まれ、すべてのプログラムを予定どおり進めることができました。生徒にとって思いに残る貴重な経験になりました。

生徒の感想文(一部抜粋)を紹介いたします。

最後の北蓼科高原体験学習が終わりました。最後まで意識が心のどこかにあったのか、いつもと違った感覚で参加した四日間は、友人や先生との絆を深められるものになったと思います。

東麓ノ登山の登山は、想像以上に寒く、厳しいものでした。道もどんどん険しくなり、雪も残って道が滑りやすいというコンディションの中、「クラス全員登頂」という目標を達成できたのは、お互いがサポートし合えたからだと思います。田植えや、キャンプファイヤー等、さまざまなイベントの完璧な企画、準備をして下さった先生方に感謝しています。無事に楽しく過ごせたのは、先生や仲間のおかげだと思います。



I had a very good time in Australia. Staying with a host family was above all, a delight for me. We went on a picnic with other families. It was so exciting. All Seitoku girls had three goals. I think I could achieve almost all of them. One of them was to cooperate with our friends. I tried to talk to my host family together with my classmates. This school trip actually strengthened our bonds. But I'm not totally satisfied with my experience. I regret not speaking well there. If I had had a lot of vocabulary, I could have talked to people more. So I decided to study English harder than before. I'll keep going forward from now on.

五月二十二日(木)から二十七日(火)までの六日間、中学三年生は附属女子中学校と合同でオーストラリア修学旅行に行きました。期間中は天候にも恵まれ、生徒たちは異国の文化に触れながら元気に活動し、多くの出会いや貴重な経験をさせていただきました。今回はファームステイが二泊になったために英語を使う必要性も高まり、その意味でも良い経験ができたのではないのでしょうか。

この附属小もいつのまにか、「また来たくなる学校」となっていたことを大いに実感する機会となりました。十三歳から三十八歳までの、「聖徳の子」が一堂に会し、小学校同窓会「秋和会」の第一回総会・懇親会が六月十五日(日)に校内で開催されました。

第一回生から第二十六回生までの全卒業生に声をかけ、当日集まったのは、総数なんと四百三十三名！一回生の卒業から二十六年経って初めて開かれる総会であるにもかかわらず、い

附属小学校

明和班で育つ「リーダーの心」



四月に新たに入学した一年生を迎え、本年度も明和班の活動がスタートしました。明和班は一・六年生まで十人程度で構成され、一年を通じて一緒に活動します。毎日の会食や運動

四月に新たに入学した一年生を迎え、本年度も明和班の活動がスタートしました。明和班は一・六年生まで十人程度で構成され、一年を通じて一緒に活動します。毎日の会食や運動

六月の校外学習では、キャンプファイアーの予定を直前に変更してキャンドルサービスを行いました。残念な思いもあったと思いますが、六年生は気持ちよく切り替えてすぐに準備に取り掛かってくれました。本番

では、各学年から出し物一つずつ披露しました。一年生がダンスを踊る際には、班長がお父さんやお母さんの顔になって見守っていました。

班長としての自覚は、どのように育っていくのでしょうか。きっと一年生からの集団体験の中で「いつかは自分も」という憧れを抱き、そこからゆくりと時間をかけて思いやりの心がはぐくまれていくのでしょう。

明和班活動は、三月に班長が卒業するともに幕を下ろします。班長として活躍した六年生に、今年もみんなから家族のように温かい感謝の言葉が贈られることと思います。

また来たくなる学校、聖徳大学附属小学校

同窓会幹事 附属小教諭 渡辺 五大 第一回卒業生

だからこそ、これだけ多くの卒業生が再び来校し、年齢を超えて親睦を深めることができたことに、大きな喜びを感じました。

開校当初からいらっ

しゃった先生方も数多くお見えになり、懇親会の中での若上先生の指揮による「輝け 聖徳」の大合唱は感動的でした。母校が同じと

初対面の卒業生も多くいま

来たくなる学校」にしてい

くために。

幼稚園短信

聖徳大学附属幼稚園

「早ね 早おき 朝ごはん」
いきいき子育て
親学講座より



小野友紀先生による講演の様子

六月十一日(水)、本園の幼稚園ホールで第三回親学講座が開かれました。今回は、保育科の小野友紀先生に「早ね 早おき 朝ごはん」のテーマでお話をさせていただきました。

「早ね 早おき 朝ごはん」国民運動は、文部科学省などの呼びかけで設立された約百三十団体からなる全国協議会(聖徳学園)が会員・推進会員として参加が中心となつて推進されている運動です。また小野先生は、この運動のパンフレット作りにも

つながるみんなの笑顔

聖徳大学附属幼稚園
同窓会
かをり会

六月十四日(土)、聖徳大学附属幼稚園の同窓会(小学生の部)「かをり会」が開かれました。今年三月に卒業したばかりの小学一年生から六年生まで二百三十四名の卒業生が幼稚園ホールに集まりました。

「園歌を歌いましょう」との呼びかけには「忘れた!!」と声があがりましたが、ピアノ伴奏が始まると、みんな声を合わせ元気に歌うことができました。退職された先生や現職の先生方のお話を聞き、短期大学部保育



懐かしい幼稚園

科教授・幸田眞希先生の人形劇が始まると一気にその世界に引き込まれ、楽しそうな笑い声がホールいっぱいに響きわたりました。その後、一年生は、幼稚園のときのクラスに分かれて懐かしい先生やお友だちに近況

報告をした後、自分で表紙を描いた卒業アルバムを受け取り、二、三年生は、伝言ゲームやボール送りゲームなど、思い切り身体を動かして遊びました。四、五、六年生の中には、成長著しく、先生方より体格がよくなり、幼稚園児の頃の面影を思い出すまで時間がかかる児童

携わっていらつしやいます。はじめに、先生より「よふかしおにと はやねちゃん」の紙芝居の読み聞かせがありました。園児たちは興味津々で、紙芝居にぐいづけになりながらお話を楽しみました。紙芝居を通して「早ね 早おき 朝ごはん」の大切さを感じたようです。

紙芝居の後には、保護者向けの講演が行われ、早寝をする事で深夜十時〜二時に熟睡している子どもに成長ホルモンがたくさん分泌される事、早起きをすることで体内リズムが整っていく事、朝ご飯を食べることで体にとって必要な栄養素がとれ、脳のエネルギー源であるブドウ糖が得られ集中力が高まり、咀嚼の刺激で消化管活動や脳の目覚めもよくなる事など、改めて理解を深めることができました。

楽しい時間があつという間に過ぎて、「蛍の光」が流れてもなかなか解散できず、名残惜しそうに話をしている姿が見られました。年に一度ではありますが、卒業生が集まるこのかをり会を今後大切にしていきたいと思ひます。

親学講座は「子育て支援」の一環として、大学の先生方に子育てのヒントを学んだり、保護者のリフレッシュする機会を得るものです。「親が変われば子どもが変わる」と言いますが、専門的な知識を持ち、かしこい子どもが育つことを今後も期待しています。

聖徳大学附属第二幼稚園
同窓会
菊水会
五月三十一日(土)、聖徳大学附属第二幼稚園において菊水会(同窓会)が行われました。当日は、卒業した小学生や退職した教職員が多数集まりました。



人形劇に見入る子どもたち

保護者の方に見送られ、幼稚園の玄関から入ってくる子どもたちは、久しぶりに再会する友達に笑顔で話しかけ、明るい雰囲気がありました。小学一年生は卒業して二ヶ月余りですが、しっかりと挨拶や対応ができる子どもたちも増え、また、五、六年生になると教員と同じぐらいの背丈の子どもたちもおり、毎年成長の喜びを感じます。

聖徳大学附属成田幼稚園
おじいさま・おばあさまの会
六月五日(木)に聖徳大学附属成田幼稚園で、園児のおじいさまとおばあさまを招き「おじいさま・おばあさまの会」が行われました。この日を心待ちにし、遠方からお越しいただいた方も多く、玄関で年長児が出

迎えホールまでご案内すると、皆さん笑顔になり、園児たちと楽しく話をされていました。川並知子園長先生、附属小学校の三須吉隆副校長先生のお話を聞いた後、年長児の「はじめの言葉」からプログラムが始まりました。全園児の歌では、自分の孫を見つけてうれしそうに手を振る方もいらつしやいました。その後は、満三歳児の「お名前呼びとハトポツポ体操」、そして、三歳児「ねずみくんのチヨッキ」、四歳児「たろうのひっこし」、五歳児「金のひつこし」のリズム遊びを

その後、各クラスに分かれ、元担任の先生やクラス友達のピアノに合わせて歌やフォークダンスを楽しみました。特に「ゴロゴロえんどう豆」のフォークダンスでは、みんな大きな声で歌いながら遊び、幼稚園時代を思い出したようです。また、今年の菊水会には約二十年ぶりに幼稚園を訪ねてくれた卒業生の参加もありました。今後も、卒業生その後の成長を楽しみにし、また来年、新たな再会を楽しみに、日々の保育に力を注いでいきたいと思ひます。

おじいさま・おばあさまの優しい笑顔とあたたかい雰囲気の中で、会が終わりました。園児たちの大好きなおじいさま・おばあさま、いつまでもお元気でいてください。

「びかびか人間」の出来上がり
わすか一時間の活動でしたが、「楽しかったね。今度うちでもやろうね」と園児と保護者が会話する姿が見られました。今回の取り組みが、いきいき子育ての一端になればと思ひます。

聖徳大学附属浦安幼稚園
びかびかお絵かき
ライトドローイング
聖徳大学附属浦安幼稚園では、子育て支援の一環として、「いきいき子育て」体験!発見!子どもと共に学ぶ無料公開親学講座を年間十回開催しています。去る七月八日(火)、第四回目として、聖徳大学短期大学部保育科の北澤昌代先生による「びかびかお絵かき」ライトドローイングが開催されました。

懐中電灯やペンライトLEDを使って暗い空間に光の絵を描き、シャッタースピードを遅くしたカメラで撮影するものです。暗幕に包まれた幼稚園ホールでは、はじめに保護者の方々のライトにカラーセロハンをかぶせて、少しだけ遊んでいただきました。十秒間好きなようにライトを動かして、スクリーンに写真が映しだされると、「わくわく!すてき!」と歓声が上がりました。合流した園児たちは、いつもとは違った暗闇の活動に少し不安な面持ちでしたが、活動が始まると自分たちの光が描いたさまざまな模様に興奮。思い思いに動きながら、光の作りだす作品に夢中になりました。活動の最後には、園児が好きなポーズを取り、保護者の方々がライトで身体をなぞると「びかびか人間」の出来上がりです。

セリフを言う姿にたくさんの拍手を送ってくださった。年長児の歌「ドレミのうた」、合奏「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」では、心を合わせた歌声やきれいな楽器の音色に歓声が上がりました。

園児たちは、懐中電灯やペンライトLEDを使って暗い空間に光の絵を描き、シャッタースピードを遅くしたカメラで撮影するものです。暗幕に包まれた幼稚園ホールでは、はじめに保護者の方々のライトにカラーセロハンをかぶせて、少しだけ遊んでいただきました。十秒間好きなようにライトを動かして、スクリーンに写真が映しだされると、「わくわく!すてき!」と歓声が上がりました。合流した園児たちは、いつもとは違った暗闇の活動に少し不安な面持ちでしたが、活動が始まると自分たちの光が描いたさまざまな模様に興奮。思い思いに動きながら、光の作りだす作品に夢中になりました。活動の最後には、園児が好きなポーズを取り、保護者の方々がライトで身体をなぞると「びかびか人間」の出来上がりです。



園児たちは、懐中電灯やペンライトLEDを使って暗い空間に光の絵を描き、シャッタースピードを遅くしたカメラで撮影するものです。暗幕に包まれた幼稚園ホールでは、はじめに保護者の方々のライトにカラーセロハンをかぶせて、少しだけ遊んでいただきました。十秒間好きなようにライトを動かして、スクリーンに写真が映しだされると、「わくわく!すてき!」と歓声が上がりました。合流した園児たちは、いつもとは違った暗闇の活動に少し不安な面持ちでしたが、活動が始まると自分たちの光が描いたさまざまな模様に興奮。思い思いに動きながら、光の作りだす作品に夢中になりました。活動の最後には、園児が好きなポーズを取り、保護者の方々がライトで身体をなぞると「びかびか人間」の出来上がりです。

聖徳学園三田幼稚園
頑張った生活発表会

聖徳学園三田幼稚園では、毎年一学期と三学期に発表会を行っています。一学期の発表会では、制服や普段着ているスモック、体操ズボンなどに装飾をした簡単な衣装を身につけてお遊戯をします。



お遊戯中の目は真剣そのもの

聖徳学園三田幼稚園
なごみ会

同窓会を行いました

卒園生が集まる同窓会が一年に一度行われています。今年度は六月二十一日(土)に行われました。

小学一年生から六年生まで全部で百九十名の卒園生が集まり、同窓会が始まりました。会の始めには、みんなで「園歌」を歌いました。やはり一年生は、まだ覚えていない子どもが多く張り切っている様子でした。その後、川並弘純学園長先生、なごみ会(同窓会)会長の挨拶、川並妙子園長先生の話を聞き、いよいよゲームの時間となりました。年長組の時にオパレッタのカードを使って行った「カードゲーム」や動物の名前の文字数に合



笑顔を見せる卒園生たち

わせて人数集めをする「猛獣狩りに行く」というゲームをしながら、懐かしい友だちと一緒に楽しみました。また、「王様じゃんけん」では、教職員や幹事のお母さま方、そして来賓の先生方とじゃんけんをし、最後まで勝てたら王様である園長先生とじゃんけんをするというルールでしたが、なかなか王様のところまで勝ち進めずにはいきました。今年も王様に勝てる人はいないかも！と思っていたら二年生のお友達が優勝して、その後九名の子どもがメダルを貰いました。また、お友達とおしゃべりに花を咲かせながらいただいたおやつ時間も、子どもたちにとっては楽しい時間になったようです。

卒園生が幼稚園に来ておそばが出来る同窓会は子どもたちにとっても楽しみのも一つでもあるようです。これからもいろいろなあそびを考えながら卒園生がいつてもあそびに来られる環境づくりをしていきたいと思えます。

この日は、子どもたちは地震を想定した訓練を行いました。保護者の方は、消防署の方より、災害時の身の守り方について指導をいただいた後、二人組になり、三角巾のさまざまな使い方、巻き方について学びました。

聖徳学園八王子中央幼稚園
引き取り訓練

聖徳学園八王子中央幼稚園では、災害時に備え、年六回防災訓練を実施しています。その中の一つである引き取り訓練が五月二十九日(木)に行われました。



三角巾の使い方の実演講習

その後引き取り訓練が行われました。子どもたちには、事前指導として、保護者の方が迎えに来る意味を知らせており、どの子どもも真剣に取り組んでいました。保護者の方にも引き取り訓練の意義をご理解いただき、この日は長そで、長ズボンで参加していただき、引き取り訓練カードに自宅から幼稚園までの道のり、所要時間を記入し提出していただきました。そして、各保育室に子どもたちを迎えに来ていただき、「〇〇(保護者名)です。☆☆(子どもの名前)を引き取りに参りました」と言っていただき、親子で手をつないで降園しました。

聖徳学園八王子中央幼稚園
和香葉会

わかば会を開催しました

六月十四日(土)に卒園生が集まる同窓会「わかば会」が開催されました。

小学一年生から六年生まで百三十名が集まりました。特に今年度は、六年生が十三名も来てくれました。「久しぶりだね」「〇〇くん来るかな?」と、友達と嬉しそうに話す姿も見られました。懐かしい友達や先生を見つけると、大喜びでおしゃべりを楽しんでいました。会が始まると、うたを歌ったり、猛獣狩りゲーム、カードゲームやジャンケン列車、王様ジャンケン等の幼稚園の頃遊んだゲームを楽しみました。一つひとつのゲームがとても盛り上がり、ジャ



元気いっぱい盛り上がります

ンケン列車や王様ジャンケンでは、チャンピオンになることを目指して、真剣な眼差しの子も達でした。ホール内は楽しそうな笑い声でいっぱいでした。おやつの中には、友達や先生と思ひ出しに花が咲いたり、学校の話や近況報告をしたりと、会話が盛り上がっていました。短い時間でしたが充実した時間になりました。「来年も来ます!」「次は、運動会に遊びに来ます」「バザーも来ます!」と言って笑顔で帰って行く姿が見られました。六年生は「中学生になって来てもいいですか?」と言う声も聞かれ、卒園生にとって、幼稚園が在園時と変わらず大好きな場所である事がとても嬉しく感じました。

聖徳学園多摩中央幼稚園
おじいさま・おばあさまと楽しく過ごせた「敬老の日の集い」

七月八日(火)、多摩中央幼稚園で「敬老の日の集い」が行われました。子どもたちは前日からおじいさま・おばあさまがいらつしやることをとても楽しみにしており、当日はわくわくしている様子が見られました。

松組(年長組)は玄関で迎え入れたり、プログラムをお渡ししたり、遊戯室までご案内したり、いろいろな係になっておもてなしをしました。会が始まり、最初に梅組(年中組)と松組が

聖徳学園多摩中央幼稚園
和香竹会

久しぶりの幼稚園

六月二十八日(土)、幼稚園の遊戯室で同窓会(和香竹会)が行われました。この

会終了後は、園庭に飛び出し大好きだった遊具で遊ぶ姿が見られるなど、卒園生にとって楽しかった幼稚園時代に戻れ、充実したひとときになったようです。



おじいさま・おばあさまとの触れ合い

「園歌」「しゃぼん玉」「虹のむこうに」の三曲を元気よく歌いました。その後松組がサカホーンと合奏を行い、たくさん拍手を頂きました。桜組・梅組はかぶりものをかぶってリズム遊びを



たくさん卒園生が集まりました

日は朝から雨でしたが、「先生!こんにちは!」と元気に玄関に入ってくる低学年の子どもも、続々と集まってきて、小学一年生から中学二年生まで二百二十三人が参加しました。

第一部では、園長先生のお話を久しぶりに聞いたり、園歌を歌ったりしました。幼稚園の時にみんな大好きで何回も歌った園歌は、卒園生も一緒に楽しんで、とてもうれしく思うとともに、今後も卒園生がいつでも遊びに行きたいと思えるような幼稚園でありたいと思えました。

園しても覚えている子どもが多く、「忘れちゃったよ!」と言いつつも、大きな声で歌っていました。第二部では、人数集めゲームや〇×ゲームなどをして、友達同士だけではなく他の学年の子どもとも関わって楽しく過ごさし、ティータイムでは、久しぶりに会った先生や友達とおしゃべりしながら、麦茶とお菓子をおいしくいただきました。

しました。大勢のおじいさま・おばあさまの前で、恥ずかしそうにしていたり、手を振ったりする姿もありましたが、最後まで頑張っていることが出来ました。「たのしみまじょう」の間には、おじいさま・おばあさまと手遊びをしたり、フォークダンスをして触れ合っていました。おじいさま・おばあさまに優しく声を掛けていただき、子どもたちはとてもうれしそうでした。短い時間でしたが、おじいさま・おばあさまに感謝の気持ちを持つことができ、また一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

学園祭 開催案内

各校、各園でも学園祭が開催されます。特色を生かした楽しい催しものを計画しています。ぜひお出かけください。

Table with 4 columns: School Name, Event Name, Date, Time. Includes events like 聖徳祭 11/8, 文化祭 11/3, 聖徳祭 9/28, etc.

学園祭 2014 インフォメーション

学校説明会関係行事のご案内

※詳細につきましては、各校・園にお問い合わせください。

Table with 2 columns: Event Name, Date/Time. Includes Open Campus, University Information, and AO Entrance Examinations.

聖徳大学通信教育部 共学

平成32年3月までの期間限定(予定)! 特例制度学習が始まりました!

幼稚園教諭免許を持っていて → 保育士資格を持っていない方
保育士資格を持っていて → 幼稚園教諭免許を持っていない方

3年以上の実務経験のある方は 8単位の学習で取得できます!

Registration details for the special learning program, including dates (July 1 - October 31), fees, and contact information.

大学院・大学・短期大学部 同窓会平成26年度「香和会」支部パーティー 開催日程

Table with 4 columns: Branch Name, Date, Time, Location. Lists party dates for various regions like九州・沖縄, 北陸・上信越, etc.

※注: 上記内容は予定であり、一部変更する場合がございます。各支部パーティーの場所等詳細につきましては、準備が整い次第、郵送にてご案内いたします。

平成26年度 大学・短期大学部/後援会・保護者会 開催日程

Table with 4 columns: Date, Time, Event Name, Location. Lists dates for general assemblies and support meetings.

読者の声: ご意見・ご感想の宛て先
学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。

山中湖ガーデンヴィラ 期間限定オープン7/10(木)~9/30(火)のご宿泊まで
インターネット宿泊予約受付中!!

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート かすがの森
まだ間に合う!! 夏休みの宿泊予約
★レイトサマープラン★